

2026 年 7 月 24 日

西日本鉄道株式会社

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

アジアのアートシーンを盛り上げるアートフェスティバル

SICF Fukuoka ワンビルで初開催

2026 年 9 月 19 日(土)～9 月 22 日(火・祝)

西日本鉄道株式会社(代表取締役社長執行役員:林田浩一、以下・西鉄)と、スパイラル／株式会社ワコールアートセンター(代表取締役社長:鈴木淳、以下・スパイラル)は、若手作家の発掘・育成・支援を目的としたアートフェスティバル「SICF Fukuoka」(エス・アイ・シー・エフ フクオカ)を、2026 年 9 月 19 日(土)から 22 日(火)まで「ONE FUKUOKA BLDG.(以下、ワンビル)」にて、開催いたします。



■**新たな才能と出会う、アートフェスティバル「SICF」**

「SICF」は、「Spiral Independent Creators Festival(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)」の頭文字から成る名称で、東京・青山のアートセンター「スパイラル」が 2000 年から開催している公募型アートフェスティバルです。過去 27 回の SICF(東京)には延べ 3,186 組が参加。SICF を通じて継続的な活動支援を行い、多くのクリエイターが国内外の展覧会や芸術祭へと活躍の場を広げています。

■**九州初上陸!「SICF Fukuoka」開催**

九州初開催となる今回は、ジャンルや年齢を問わず選出された 60 組の気鋭アーティストが、絵画、立体・インスタレーション、ファッション、クラフト、プロダクトなど多彩な作品を発表。会期中はアーティスト自身によるコンセプトや制作背景などの作品紹介が行われます。アートファンだけではなく、普段アートに触れる機会が少ない方にもお楽しみいただけるものとなっています。九州地方からの出展者は 24 組(40%)にのぼり、東京開催に比べて多くの地元アーティストが参加しているほか、日本全国、中国・韓国からの出展者も集います。台湾から審査員も迎え、アジアへの玄関口である福岡で、次代の表現が交差する場を目指します。

■「SICF Fukuoka」開催の背景～福岡から次代のアートシーンを育む～

「SICF Fukuoka」は、開発コンセプト「創造交差点」を掲げ、ワンビルを単なる大型複合ビルにとどまらない多様な価値が生まれる場とすることを目指す西鉄と、長年にわたり新たな才能の発掘・育成・支援に取り組んできたスパイラルの理念が重なり、実現したものです。

次代を担うアーティスト・クリエイターに発表と成長の機会を提供するとともに、アートによる天神の賑わい創出、まちの価値向上に取り組めます。来街者や働く人々が新たな表現に触れ、人やアイデアが交わることで、ワンビルを起点に新しいビジネスや文化が生まれることを目指します。

■両社代表からのコメント



【西鉄：林田浩一】

天神のさらなる賑わいと魅力の創出は、福岡・九州のまちづくり企業である私たちにとって重要なテーマです。そして、アートは人々に新たな発見や刺激をもたらし、街に彩りと潤いを与えてくれる大きな力を持っています。

今回の SICF Fukuoka を通じて若い才能の挑戦を後押しするとともに、天神の新たな賑わいと魅力の創出につながることを期待しています。



【スパイラル/(株)ワコールアートセンター：鈴木淳】

スパイラルは東京青山で 40 年以上にわたり若手アーティストの発掘・支援に取り組んできました。アートによって「世の中を豊かにする」、そのためにアーティストが作品を発表できる場をたくさん作りたい、その一つの思いが「SICF」です。西鉄様のご支援により、福岡で初めて開催されることになりました。福岡ワンビルから多くの才能が生まれ、世界へ羽ばたくきっかけになることを期待しています。

の思いが「SICF」です。西鉄様のご支援により、福岡で初めて開催されることになりました。福岡ワンビルから多くの才能が生まれ、世界へ羽ばたくきっかけになることを期待しています。

■開催概要

【名称】 SICF Fukuoka(エス・アイ・シー・エフ フクオカ)
公式サイト: <https://www.sicf.jp/sicf-fukuoka/>

【会期】

[A 日程]: 2026 年 9 月 19 日(土)～20 日(日) 12:00～19:00 [30 組]
[B 日程]: 2026 年 9 月 21 日(月・祝)～ 22 日(火・祝)12:00～19:00 [30 組]

【会場】 ONE FUKUOKA BLDG. 6 階 カンファレンスホール
(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-11-1)

【審査員(敬称略)】

肩書き	氏名
成瀬・猪熊建築設計事務所共同主宰 / 芝浦工業大学教授	猪熊 純
陶芸家、アーティスト	鹿児島 睦
Jut Art Museum(忠泰美術館)館長	黄 姍姍(Shan Shan, Huang)
DDI 代表/デザイナー、クリエイティブディレクター、美術家	藤原 大
スパイラル アート事業部 部長・キュレーター	加藤 育子

【顕彰】

受賞クリエイターには、ワンビルでの個展開催や作品・プロダクトの紹介、Xmas Marketでの展示・販売など、会期終了後も継続的な活動機会を提供し、福岡・天神のアートシーンの発展と、街全体の活性化につなげてまいります。

グランプリ: ワンビル内での作品展示(制作補助費 50 万円)
準グランプリ: 次年度受賞者展への出展(制作補助費 10 万円)
各審査員賞/スパイラル奨励賞: 次年度受賞者展への出展
西鉄賞: 西鉄バスのラッピングデザイン

【共催】 西日本鉄道株式会社、株式会社ワコールアートセンター

【企画制作】 スパイラル

【グラフィックデザイン】 田部井美奈

■出展者のみなさま

絵画、陶、工芸、インスタレーションなどの多彩な作品が出展予定です。(以下、出展参考作品)



黒松健 作品 (A日程)



サカイケイタ 作品 (A日程)

A日程 | 2026年9月19日(土)～20日(日)

AIKA TOKUTOMI × GEN SHIBATA/asiandress/東 絵理/atelier yohira/
イケナナ/YOUNGHWAA LEE/上田 碌碌
Ren ehara | 山口 知咲 | 青木 海/小野里 友起/加藤 白/くらもち あすか/國分 風志/
サカイケイタ/SALAK/澤井 歩/
シーダスタム 輝 | シーダスタム・スタジオ/竹之内 要人/田名網 早紀/千葉 尋/夏月夏/
Knotto/西島 蓮/hippie frog/pu-ri/
misaki kotori/未来工芸研究所・成縁組/八嶋 洋平/山田 慧/Rika Matsubara/Lys



oriri mfg 作品 (B日程)



亀山 晴香 作品 (B日程)

B日程 | 2026年9月21日(月・祝)～22日(火・祝)

æ craft/いとまも/井上 康/IWACO/江口 秋/OMAMORI PROJECT/oriri mfg/
おれちよ 本多/oletta/桂 典子/亀山 晴香/keemsbeen/
慶野 仁希/河野 香奈恵/SHOTO KOHAGURA/杉谷 一考/スズキヒロヤ/竹内 康雄/
田島 恵美/ツケシバモトアキ/デア/豊田 玉之介/
中原 みお/原田 綾乃/HIYU HAMASAKI/松岡 瑞起/murabayashi moe/毛利 華子/
yaquaw/yatotto

■関連イベント

SICF Fukuoka 開催期間中、ワンビル内では、過去に SICF に出展した作家を起用し、展覧会やワークショップを開催します。

サワイダイスケ(SICF26 グランプリ)作品展示

「BURNING SWEET LIFE – Connection to Hope / 希望への接続 – 」

サワイダイスケは、スケートボードカルチャーに登場する「火」を使ったグラフィックに影響を受け、人と文明をつなぐ役割を担う「connector」という観点で「火」を捉えなおし、その関係性を思考する作品を発表しています。本作は、文明がもたらす「恩恵と破綻」という両義性の中で生きる、私たちの過去と未来を再考。おもちゃのジオラマのような作品は楽しげでありながら、今まさに地球で広がる様々な出来事を思わせ、甘美に見える現代文明の危うい状態を浮かび上がらせてます。



サワイダイスケ 作品 Photo: TADA(YUKAI)

高橋哲人 TETSUJIN – AUDIO VISUAL(SICF19 オーディエンス賞)
参加型パフォーマンス「Star☆Jam Street ～清掃楽器音楽夢想～」

ロックスターを夢見て中学校の教室の片隅でほうきをかき鳴らした作者。大人になり生き辛さを感じる中で、「あの頃のように純粋に夢を見て生きたい」という想いと理不尽な社会への怒りが交差して、“ほうきギター”が生まれました。他の清掃楽器も加わって、バンドとしてパフォーマンスを展開します。

音と光のセッションを通して人と人が響き合うことで生まれる景色を魅せ、観客も一員となり、エネルギーが広がっていく、参加型のパフォーマンスをお楽しみください。



あそびのどうぐ(SICF25 EXHIBITION 部門 出展)
「あそびのどうぐのアトリエ play! sticker art」

シールアーティスト「あそびのどうぐ」のアトリエをオープン！シール工房に見立てたテーブルには、1000種以上のオリジナルシールが並びます。

会場でご用意する紙袋で自分だけのハンドバッグをおつくりいただけるほか、ご持参いただいたアイテムにも自由に貼ることが可能です。子どもから大人まで、シールあそびの世界をご体感いただけます。



■SICF の魅力

アートからプロダクトまで、ジャンルを超えて楽しむ

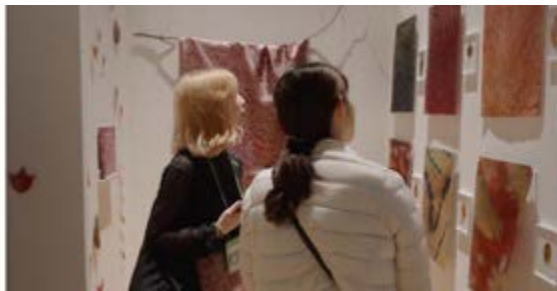
SICFでは、絵画や彫刻、現代アートをはじめ、写真、ファッション、クラフト、陶芸など多彩なジャンルの作品をご覧ください。ジャンルの枠を超えて、さまざまな表現に出会えることはSICFならではの魅力です。多様なクリエイティブを一度に体感できる貴重な機会をおたのしみください。



SICF27 出展作品 木川 みく【左】、TETTA(SUGIMOTO Satoko)【中央】、MARIKO KONISHI【右】 Photo: TADA(YUKAI)

作り手の想いを聞く

会期中は各作家が在廊し、自ら作品についてプレゼンテーションを行います。制作の背景や、作品に込めた想いを作家本人から直接聞くことができます。作品を鑑賞するだけでなく、つくり手との対話を通して、より深く、アートをご体感いただけます。



入場無料、誰もが体験できるアートフェスティバル

SICF Fukuokaは入場無料で、どなたでも自由にご来場いただけるアートフェスティバルです。より多くの方にアートを生活の中に取り入れていただきたいという想いを込め、誰もが気軽に作品やクリエイターとの出会いをたのしめる、ひらかれたイベントを目指しています。



■ SICFの仕組み

グランプリをはじめとする受賞者はもとより、出展者も対象に、スパイラルが手がける様々な展覧会・イベント・アートプロジェクトなど積極的に作家を登用。SICF 出展がゴールではなく、アーティストとしての将来的なキャリア形成を 視野に入れながら、ステップアップにつながる機会を設け、キュレーターやバイヤーがアドバイスをすることで長期的な支援を行っています。



■ ONE FUKUOKA BLDG.における取り組み

スパイラルは、西日本鉄道株式会社と協働し、ONE FUKUOKA BLDG.におけるアートプログラムを展開してきました。ONE FUKUOKA BLDG.が掲げる“創造交差点”のコンセプトのもと、開業時には展覧会「アートうごめく！Wonder Garden」を開催したほか、6 階共用スペースでは常設アートを展示。また、SICF 作家を起用し、「ONE FUKUOKA BLDG. XMAS produced by SPIRAL」の開催、Spiral Garden 福岡ワンビルでの展示などを開催しています。



< 本件に関するお問合せ >

ONE FUKUOKA BLDG.(ワンビル)PR 事務局
PR 事務局:担当 | マツオシゲコ(080-4468-5551)
E-mail:onebldg-pr@over-the.com
※ご取材には「取材申請書」のご提出をお願いしています。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター
アート事業部 コミュニケーション担当
三田 穂積、宮下 恵梨子
E-mail: press@spiral.co.jp